

2026 年 9 月 10 日

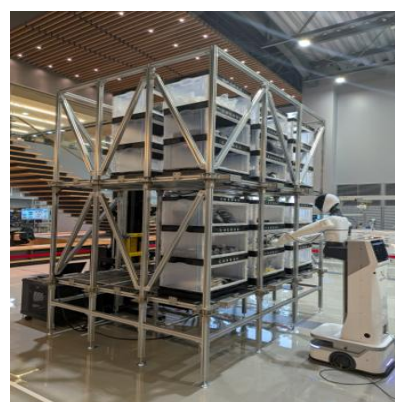
矢崎総業株式会社

矢崎総業株式会社・Cuebus 株式会社・株式会社山善 「リニアモータ式ロボット倉庫」の実証実験を開始

矢崎総業株式会社（本社:東京都港区、社長:矢崎 陸、以下「矢崎総業」）と世界初のリニアモータ式ロボット倉庫「CUEBUS(キューバス)」を展開する Cuebus 株式会社（東京都台東区、代表取締役社長：大久保 勝広、以下「Cuebus」）、株式会社山善（本社：大阪市、代表取締役社長：岸田貢司、以下「山善」）は、静岡県裾野市に新設したイノベーション施設『Innovation Hub-REN（錬）』において都市型立体ロボット倉庫システム「CUEBUS（キューバス）」を導入した実証実験を開始しました。



Innovation Hub – REN（錬）



「CUEBUS」×「ヒューマノイドロボット」

【取り組みの背景】

矢崎総業では、静岡県裾野市のイノベーション施設「Innovation Hub – REN（錬）」を中心に、AI・ロボティクスを活用した次世代のものづくりと生産現場の自動化に向けた挑戦を推進しています。製造・物流現場において人手に依存する工程や高負荷な作業の解消、限られたスペースを最大限に活用することが喫緊の課題となる中、テクノロジーを活用しながら「人とロボットが協働する人にやさしい工場」の実現を目指しています。

この目標に向けた具体的な取り組みとして、「Innovation Hub – REN（錬）」へロボット倉庫「CUEBUS」を導入します。本システムは、リニアモータ駆動による高速・高精度な自動搬送に加え、人が通るための通路をなくしケースを隙間なく詰め込んで立体的に保管する高密度な在庫管理を実現します。この「CUEBUS」の導入により、限られたスペースの有効活用と、モノを探す・運ぶといった移動ロスを解消した工程間の部品搬送・在庫管理の効率化・自動化を検証し、リードタイム短縮と作業負荷の軽減を図ります。

【実証内容】

本実証は、「Innovation Hub – REN（錬）」内に「CUEBUS」を設置し、2026 年 9 月 21 日より開始します。本実証では、「CUEBUS」による高密度な保管と高速搬送に加え、山善とのパートナーシップのもと同施設に導入されている自律型ヒューマノイドロボット及びフィジカル AI データとの連携を検証します。具体的には、「CUEBUS」から自動出庫された部品・資材をヒューマノイドロボットが受け取り、次工程へ引き渡す一連の工程間連携や動線効率、在庫管理の最適化効果を検証します。最先端のロボティクス技術をシームレスに融合させることで、製造現場における自動化・省人化を推進し、作業者の負担を軽減する「人とロボット、さらには異種ロボット同士が協働する次世代生産モデル」の構築を目指します。

■ 矢崎総業について

1941 年創業。「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」を社是に掲げ、世界トップクラスのシェアを誇るワイヤーハーネスをはじめ、自動車部品やエネルギー機器の開発・製造・販売を手がけています。

現在は世界 46 の国と地域に拠点を構え、グローバルに事業を展開。クルマや暮らし、社会を支える製品・サービスを通じて、より豊かな未来の実現に貢献しています。

■ Cuebus について

“加速する時間に応える”をミッションに、全方位に走行可能な独自開発リニアモータをコア技術とする世界唯一の都市型立体ロボット倉庫「CUEBUS」を開発・提供しています。「①超収納効率」「②超スループット」「③超柔軟性」という 3 つの特長を備え、物流現場の生産性向上や空間利用の最適化など、業界が抱える課題を解決に導きます。

■ 株式会社山善について

工作機械、産業機器、機械工具、自動化ロボットなど、世界のものづくりを支える「生産財」と、快適で便利な住まい・オフィス環境をつくる住宅設備機器や、暮らしを豊かに彩る生活用品などの「消費財」を提供する専門商社です。生産現場の自動化提案、脱炭素社会へ向けた省エネ事業の推進、生活者のニーズを具現化した商品の開発など、変化する時代に対応したソリューションを様々な分野で提供しています。

今後も、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かな暮らしをリードしてまいります。